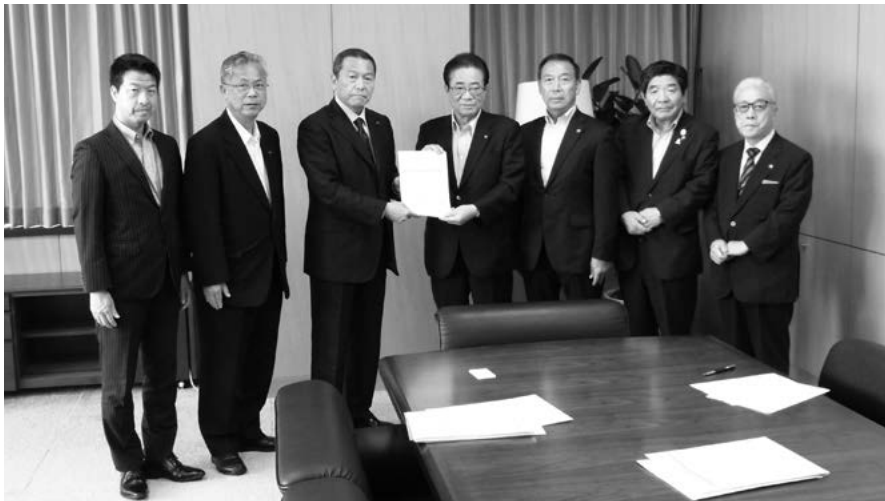


全国市長会の

動き

7月12日～8月7日

詳細につきましては、全国市長会ホームページ
 (<http://www.mayors.or.jp/>)
 をご参照ください。

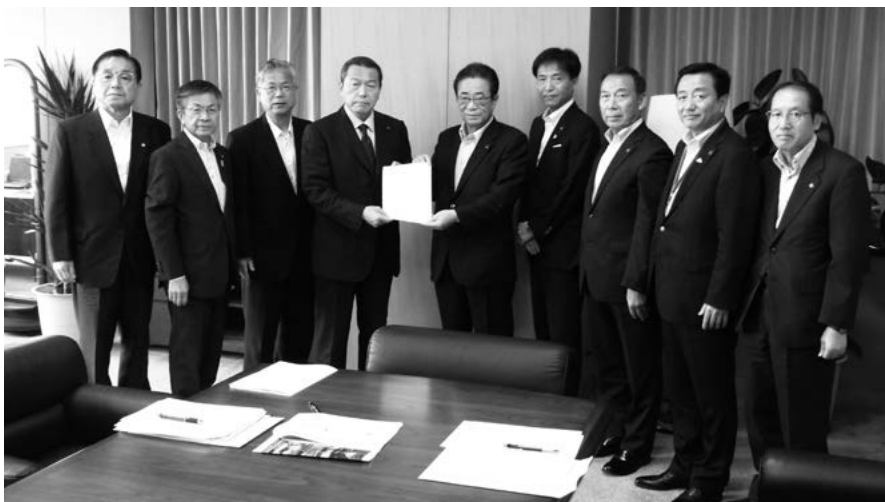


小此木・内閣府特命担当大臣（防災）に大阪府北部地震について要請

本会と被災地の市長会との合同で7月25日、「平成30年6月大阪府北部地震」、「平成30年7月豪雨災害」に関する緊急要請を行った。

本会会長の立谷・相馬市長、副会長（防災

#1
 立谷会長はじめ11市長が
 「平成30年6月大阪府北部地震」
 「平成30年7月豪雨災害」について
 緊急要請



小此木・内閣府特命担当大臣（防災）に平成30年7月豪雨災害について要請

対策担当)の神出・海南市長、東海市長会長の中野・一宮市長、近畿市長会会長の山中・芦屋市長、大阪府市長会会長の阪口・高石市長、伏見・枚方市長、森山・摂津市長、中国市長会会長の石田・倉吉市長、四国市長会会長の大西・高松市長、高知県市長会会長の岡崎・高知市長、福岡県市長会会長の井上・春日市長は、小此木・内閣府特命担当大臣（防災）、野田・総務大臣、牧野・国土交通副大臣、自由民主党の林・幹事長代理、公明党の山口・



三木・須坂市長

代表、齊藤・同党「平成30年7月豪雨」対策本部長、石田・同本部長代理、榎屋・同本部長代理、赤羽・同本部事務局長にそれぞれ面会のうえ、緊急要請の実現方について要請を行った。

〔企画調整室・行政部〕

#2 「第2回地方法人課税に関する検討会」に
三木・須坂市長が出席

7月31日、「第2回地方法人課税に関する検討会」が開催され、本会から三木・須坂市長（都市税制調査委員会副委員長）が出席した。

検討会では、地方三団体ヒアリングが行われ、三木・須坂市長からは、急速な少子・高齢化社会の進展に伴う社会保障関係費の増加等により、都市自治体は厳しい財政運営を強いられているが、これは必要な財政需要に見合った税収が措置されていないことが原因の一つとしたうえで、都市自治体の財政需要と税収ができるだけ見合うようにし、地域間の財政力格差を埋めるためにも、偏在性の小さい地方税体系の構築を目指し、新たな偏在是正措置の検討が必要であるとの発言を行った。

〔財政部〕

#3 立谷会長及び防災担当副会長の
神出・海南市長が伊東・倉敷市長、
片岡・総社市長、天満・三原市長及び
新原・呉市長と面会し、
今後の災害対応等について意見交換

8月6日、7日、立谷会長及び防災担当副会長の神出・海南市長は、伊東・倉敷市長、片岡・総社市長、天満・三原市長及び新原・呉市長とそれぞれ面会し、平成30年7月豪雨による被災についてお見舞い、激励した。各市において被災状況等について説明を受け、今後の災害対応等について意見交換を行うとともに、被災現場を視察した。

〔行政部〕



左から立谷会長、神出副会長（防災担当）、片岡・総社市長



左から神出副会長（防災担当）、伊東・倉敷市長、立谷会長



新原・呉市長（左列中央）、立谷会長（右列中央）



立谷会長（左端）、天満・三原市長（右から2人目）

市政読書室

経済学は悲しみを分かち合うために —私の原点

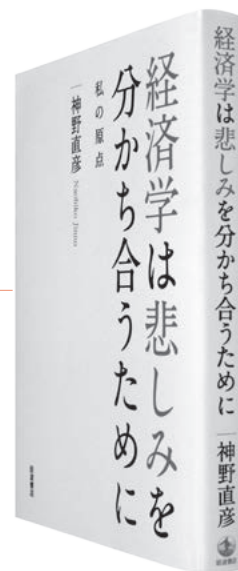
経済学者 神野直彦 著

株式会社岩波書店 定価1,800円(本体)

「人間は優しさを与え合い、悲しみを「分かち合い」ながら生きていく。悲しみを「分かち合う」と、悲しみに暮れている人だけではなく、悲しみを分かち合った人々をも幸福にする。人間が幸福を実感できるのは、自己が他者にとって必要不可欠な存在だと実感した時だからである。」

人間のための経済学を提唱する神野直彦先生の思想はどのようにしてはぐくまれてきたのか。先生ご自身の生い立ち、恩師や友人との交流などを振り返りながら、経済学の果たすべき使命を根源から、分かり易く問い掛けています。

行政の現場で、日夜住民と接しながらご苦勞をされている都市自治体関係者に一読をお勧めしたい好著です。



市政

平成30年9月号